

デキサメタゾン製剤（経口剤及び注射剤）、プレドニゾン製剤（経口剤、注射剤及び注腸剤）、メチルプレドニゾン製剤（経口剤及び注射剤）、コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤（経口剤及び注射剤）、トリアムシロン製剤（経口剤及び注射剤）、及びベタメタゾン製剤（経口剤、坐剤、注射剤及び注腸剤）の「使用上の注意」の改訂について

一般名 販売名	一般名	販売名（承認取得者）
	1. デキサメタゾン（経口剤）	別紙1参照
	2. デキサメタゾンパルミチン酸エステル	
	3. デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤）	
	4. プレドニゾン（経口剤）	
	5. プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	
	6. プレドニゾンリン酸エステルナトリウム	
	7. メチルプレドニゾン	
	8. メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	
	9. メチルプレドニゾン酢酸エステル	
	10. コルチゾン酢酸エステル	
	11. ヒドロコルチゾン	
	12. ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム（効能又は効果にリンパ系腫瘍を含む）	
	13. ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム（効能又は効果にリンパ系腫瘍を含まない）	

	<p>14. ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム</p> <p>15. トリアムシノロン</p> <p>16. トリアムシノロンアセトニド</p> <p>17. ベタメタゾン（経口剤）</p> <p>18. ベタメタゾン（坐剤）</p> <p>19. ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤）</p> <p>20. ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム（注射剤）</p> <p>21. ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム</p> <p>22. ベタメタゾン・<i>d</i>-クロルフェニラミンマレイン酸塩</p>	
販売開始年月	別紙1 参照	
効能・効果	別紙2 参照	
改訂の概要	<p>1、3～5、7～12 〈効能又は効果にリンパ系腫瘍を含む製剤〉</p> <p>1. 「重要な基本的注意」の項に腫瘍崩壊症候群に関する記載を追記する。</p> <p>2. 「副作用」の「重大な副作用」の項に「腫瘍崩壊症候群」を追記する。</p> <p>2、6、13、14 〈効能又は効果にリンパ系腫瘍を含まない製剤〉</p> <p>「重要な基本的注意」の項に腫瘍崩壊症候群に関する記載を追記する。</p>	
改訂の理由及び調査の結果	<p>腫瘍崩壊症候群の症例を評価した。症例の因果関係評価及び使用上の注意の改訂要否について、専門委員の意見も聴取した結果、デキサメタゾン製剤（経口剤及び注射剤）、プレドニゾン製剤（経口剤及び注射剤）、メチルプレドニゾン製剤（経口剤及び注射剤）、及びヒドロコルチゾン製剤（注射剤）について、腫瘍崩壊症候群との因果関係が</p>	

	<p>否定できない症例が集積したことから、使用上の注意を改訂することが適切と判断した。プレドニゾロン製剤（注腸剤）及びコルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤（経口剤）については、腫瘍崩壊症候群の症例の集積はないが、同一の活性体等の集積を踏まえ、同内容に改訂することが適切と判断した。</p> <p>トリアムシノロン製剤（経口剤及び注射剤）及びベタメタゾン製剤（経口剤、坐剤、注射剤及び注腸剤）については、腫瘍崩壊症候群の症例の集積がないことから、現時点では使用上の注意の改訂は不要と判断した。</p>	
<p>参考：「腫瘍崩壊症候群」症例*の集積状況 【転帰死亡症例】</p>	<p>国内症例</p> <p>1～3 デキサメタゾン製剤 3例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例1例） 【死亡0例】</p> <p>4～6 プレドニゾロン製剤 10例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例3例） 【死亡1例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p> <p>7～9 メチルプレドニゾロン製剤 3例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例2例） 【死亡1例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p> <p>10～14 コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤 1例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例0例） 【死亡1例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p>	<p>海外症例</p> <p>1～3 デキサメタゾン製剤 11例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例9例） 【死亡3例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例2例）】</p> <p>4～6 プレドニゾロン製剤 7例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例3例） 【死亡1例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p> <p>7～9 メチルプレドニゾロン製剤 13例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例7例） 【死亡1例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p> <p>10～14 コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤 3例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例3例） 【死亡2例（うち、医薬品と事象による死亡との因果関係が否定できない症例0例）】</p>

	15、16 トリアムシノロン製剤 0例	15、16 トリアムシノロン製剤 0例
	17～22 ベタメタゾン製剤 0例	17～22 ベタメタゾン製剤 0例

*：医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で、MedDRA PT「腫瘍崩壊症候群」に該当する症例のうち、リンパ系腫瘍に対する治療としての抗悪性腫瘍薬の併用がない症例

本調査に関する専門協議の専門委員は、本品目についての専門委員からの申し出等に基づき、「医薬品医療機器総合機構における専門協議等の実施に関する達」（平成20年12月25日付 20達第8号）の規定により、指名した。

別紙1

	一般名	販売名（承認取得者）	販売開始年月
デキサメタゾン製剤			
1	デキサメタゾン	デカドロン錠 0.5mg、同錠 4mg（日医工株式会社）	0.5mg：1959年7月 4mg：2014年6月
		デカドロンエリキシル 0.01%（日医工株式会社）等	1961年4月
		レナデックス錠 2mg、同錠 4mg（ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）	2mg：販売開始前 4mg：2010年7月
2	デキサメタゾンパルミチン酸エステル	リメタゾン静注 2.5mg（田辺三菱製薬株式会社）	1988年6月
3	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	オルガドロン注射液 1.9mg、同注射液 3.8mg、同注射液 19mg（サンドファーマ株式会社）	1.9mg：1969年9月 3.8mg：1962年10月 19mg：1973年8月
		デカドロン注射液 1.65mg、同注射液 3.3mg、同注射液 6.6mg（サンドファーマ株式会社）等	1.65mg：1963年10月 3.3mg：1970年6月 6.6mg：1959年11月
プレドニゾロン製剤			
4	プレドニゾロン	プレドニン錠 5mg（シオノギファーマ株式会社）等	1956年3月
5	プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	水溶性プレドニン 10mg、同 20mg、同 50mg（シオノギファーマ株式会社）	10mg：1963年12月 20mg：1961年2月 50mg：1967年3月
6	プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム	プレドネマ注腸 20mg（杏林製薬株式会社）	2002年9月
メチルプレドニゾロン製剤			

	一般名	販売名（承認取得者）	販売開始年月
7	メチルプレドニゾロン	メドロール錠 2mg、同錠 4mg（ファイザー株式会社）	2mg：1960年10月 4mg：1959年10月
8	メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	ソル・メドロール静注用 40mg、同静注用 125mg、同静注用 500mg、同静注用 1000mg（ファイザー株式会社）	40mg：1980年9月 125mg：1980年9月 500mg：1980年2月 1000mg：1980年2月
9	メチルプレドニゾロン酢酸エステル	デポ・メドロール水懸注 20mg、同水懸注 40mg（ファイザー株式会社）	20mg：1974年3月 40mg：1961年4月
コルチゾン・ヒドロコルチゾン製剤			
10	コルチゾン酢酸エステル	コートン錠 25mg（日医工株式会社）	1956年2月
11	ヒドロコルチゾン	コートリル錠 10mg（ファイザー株式会社）	1958年9月
12	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム（効能又は効果にリンパ系腫瘍を含む）	ソル・コーテフ注射用 100mg（ファイザー株式会社）等	1959年7月
13	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム（効能又は効果にリンパ系腫瘍を含まない）	ソル・コーテフ静注用 250mg、同静注用 500mg、同静注用 1000mg（ファイザー株式会社）等	1972年7月
14	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	水溶性ハイドロコートン注射液 100mg、同注射液 500mg（日医工株式会社）等	100mg：1975年10月 500mg：1976年9月
トリアムシノロン製剤			
15	トリアムシノロン	レダコート錠 4mg（アルフレッサ ファーマ株式会社）	1958年11月
16	トリアムシノロンアセトニド	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL（ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）	1965年12月

	一般名	販売名（承認取得者）	販売開始年月
		ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL(ブリ ストル・マイヤーズ スクイブ株式会社)	1966年1月
ベタメタゾン製剤			
17	ベタメタゾン（経口剤）	リンデロン錠 0.5mg、同散 0.1%、同シロップ 0.01%（シ オノギファーマ株式会社）等	錠 0.5mg：1962年4月 散 0.1%：1963年6月 シロップ 0.01%：1964年5月
18	ベタメタゾン（坐剤）	リンデロン坐剤 0.5mg、同坐剤 1.0mg（シオノギファーマ 株式会社）	1981年9月
19	ベタメタゾンリン酸エステルナト リウム（注射剤）	リンデロン注 2mg（0.4%）、同注 4mg（0.4%）（シオノ ギファーマ株式会社）等	1964年9月
		リンデロン注 20mg（0.4%）（シオノギファーマ株式会 社）等	1974年8月
		リンデロン注 20mg（2%）、同注 100mg（2%）（シオノ ギファーマ株式会社）	1985年7月
20	ベタメタゾンリン酸エステルナト リウム（注腸剤）	ステロネマ注腸 1.5mg、同注腸 3mg（日医工株式会社）	1.5mg：1996年9月 3mg：1992年9月
21	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメ タゾンリン酸エステルナトリウム	リンデロン懸濁注（シオノギファーマ株式会社）	1967年2月
22	ベタメタゾン・d-クロルフェニラミ ンマレイン酸塩	セレスタミン配合錠、同配合シロップ（高田製薬株式会 社）等	錠：1965年3月 シロップ：1966年7月

別紙2

	販売名（承認取得者）	効能・効果
1	デカドロン錠 0.5mg、同錠 4mg（日医工株式会社）	<ul style="list-style-type: none">○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症、下垂体抑制試験○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症○ネフローゼ及びネフローゼ症候群○うっ血性心不全○気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病○重症感染症（化学療法と併用する）○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）○劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）</p> <p>○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>○抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）</p> <p>○特発性低血糖症</p> <p>○原因不明の発熱</p> <p>○副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲</p> <p>○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○卵管整形術後の癒着防止</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ピダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱疹、ライター症候群〕、*掌蹠膿疱症（重症例に限る）、*扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、*円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、★紅皮症（ヘブラ紅色皰糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状皰糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>○嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎</p> <p>○全身性 AL アミロイドーシス</p> <p>★：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
1	デカドロンエリキシル 0.01%（日医工株式会社）等	<p>○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症、下垂体抑制試験</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p> <p>○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <p>○ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>○うっ血性心不全</p> <p>○気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>中毒疹を含む）、血清病</p> <ul style="list-style-type: none">○重症感染症（化学療法と併用する）○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）○劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移○特発性低血糖症○原因不明の発熱○副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○卵管整形術後の癒着防止</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ピダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、*掌蹠膿疱症（重症例に限る）、*扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、*円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、*紅皮症（ヘブラ紅色秕糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状秕糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>○嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		★：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること
1	レナデックス錠 2mg、同錠 4mg（ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社）	多発性骨髄腫
2	リメタゾン静注 2.5mg（田辺三菱製薬株式会社）	関節リウマチ
3	オルガドロン注射液 1.9mg、同注射液 3.8mg、同注射液 19mg（サンドファーマ株式会社）	<p>○内分泌疾患 慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）〔筋注〕、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）〔静注、点滴、筋注〕、副腎性器症候群〔[§]筋注〕、亜急性甲状腺炎〔[§]筋注〕、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕〔静注、点滴、[§]筋注〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症〔[§]筋注〕</p> <p>○リウマチ性疾患 関節リウマチ〔筋注、関節〕、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）〔筋注、関節〕、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）〔[§]静注、[§]点滴、筋注〕、リウマチ性多発筋痛〔筋注〕、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）〔筋注〕</p> <p>○膠原病 エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）〔[§]静注、[§]点滴、筋注〕、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）〔[§]静注、[§]点滴、筋注〕、多発性筋炎（皮膚筋炎）〔[§]静注、[§]点滴、筋注〕、強皮症〔[§]筋注〕</p> <p>○腎疾患 ネフローゼ及びネフローゼ症候群〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注〕</p> <p>○心疾患 うっ血性心不全〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注〕</p> <p>○アレルギー疾患 気管支喘息〔静注、点滴、筋注（但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適當な場合に限る）、ネブ〕、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）〔[§]筋注、ネブ〕、喘息発作重積状態〔静注、点滴〕、薬剤その他の化学物質によるア</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>レルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注〕、血清病〔静注、点滴、[§]筋注〕、アナフィラキシーショック〔静注、点滴〕</p> <p>○重症感染症 重症感染症（化学療法と併用する）〔静注、点滴、[§]筋注〕</p> <p>○血液疾患 溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）〔静注、点滴、[§]筋注〕、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）〔静注、点滴、[§]筋注〕、顆粒球減少症（本態性、続発性）〔静注、点滴、[§]筋注〕、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）〔静注、点滴、[§]筋注〕、再生不良性貧血〔静注、点滴、[§]筋注〕、凝固因子の障害による出血性素因〔静注、点滴、[§]筋注〕</p> <p>○消化器疾患 限局性腸炎〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注、注腸〕、潰瘍性大腸炎〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注、注腸〕</p> <p>○重症消耗性疾患 重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注〕</p> <p>○肝疾患 劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）〔静注、[§]点滴、[§]筋注〕、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）〔[§]筋注〕</p> <p>○肺疾患 びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）〔[§]静注、点滴、ネブ〕</p> <p>○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）〔静注、点滴、[§]筋注〕、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注〕、重症筋無力症〔静注、点滴、[§]筋注〕、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）〔静注、点滴、[§]筋注〕、小舞踏病〔[§]筋注〕、顔面神経麻痺〔[§]筋注〕、脊髄蜘蛛膜炎〔[§]筋注〕</p> <p>○悪性腫瘍</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）〔静注、点滴、[§]筋注〕、好酸性肉芽腫〔静注、点滴、[§]筋注〕、乳癌の再発転移〔[§]筋注〕以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法多発性骨髄腫〔点滴〕</p> <p>○抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）〔静注、点滴〕</p> <p>○代謝・栄養障害</p> <p>特発性低血糖症〔静注、点滴、[§]筋注〕</p> <p>○外科疾患</p> <p>副腎摘除〔静注、点滴、筋注〕、臓器・組織移植〔[§]筋注〕、侵襲後肺水腫〔静注、ネブ〕、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲〔[§]筋注〕、外科的ショック及び外科的ショック様状態〔静注〕、脳浮腫〔静注〕、輸血による副作用〔静注〕、気管支痙攣（術中）〔静注〕、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）〔[§]筋注〕、手術後の腹膜癒着防止〔腹腔〕</p> <p>○整形外科疾患</p> <p>強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎〔関節〕、関節周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織、腱鞘、滑囊〕、腱炎（非感染性のものに限る）〔軟組織、腱鞘〕、腱鞘炎（非感染性のものに限る）〔腱鞘〕、腱周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織、腱鞘、滑囊〕、滑液包炎（非感染性のものに限る）〔滑囊〕、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）〔関節〕、非感染性慢性関節炎〔関節〕、痛風性関節炎〔関節〕、椎間板ヘルニアにおける神経根炎（根性坐骨神経痛を含む）〔硬膜外〕、脊髄浮腫〔静注、硬膜外〕</p> <p>○産婦人科疾患</p> <p>卵管整形術後の癒着防止〔[§]筋注、卵腔〕</p> <p>○泌尿器科疾患</p> <p>前立腺癌（他の療法が無効な場合）〔[§]筋注〕、陰茎硬結〔[§]筋注、皮内〕</p> <p>○皮膚疾患</p> <p>湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など（但し、重症例以外は極力投与しないこと）〔[◎]筋注、[◎]皮内（但し、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）〕、痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）〔[◎]筋注、[◎]皮内〕、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）〔[§]点滴、[§]筋注〕、乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕〔[◎]筋注、[◎]皮内（尋常性乾癬のみ）〕、掌蹠膿疱症（重症例に限る）〔[◎]筋注〕、扁平苔癬（重症例に限る）〔[◎]筋注、[◎]皮内〕、成年性浮腫性硬化症〔[§]筋注〕、紅斑症（[◎]多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）〔[§]筋注〕、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕〔[§]点滴、[§]筋注〕、円形脱毛症（悪性型に限る）〔[◎]皮内〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）〔[§]点滴、[§]筋注〕、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱瘡を含む）〔[§]点滴、[§]筋注〕、帯状疱疹（重症例に限る）〔[§]筋注〕、紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）〔[◎]筋注、[◎]皮内〕、早期ケロイド及びケロイド防止〔[◎]皮内〕、新生児スクレエーマ〔[§]筋注〕</p> <p>○眼疾患</p> <p>内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）〔[§]静注、[§]筋注、結膜、球後、点眼〕、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）〔[§]静注、[§]筋注、結膜、球後〕、眼科領域の術後炎症〔[§]静注、[§]筋注、結膜、点眼〕</p> <p>○耳鼻咽喉科疾患</p> <p>急性・慢性中耳炎〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注、中耳〕、滲出性中耳炎・耳管狭窄症〔[§]静注、[§]点滴、[§]筋注、中耳、耳管〕、メニエル病及びメニエル症候群〔静注、点滴、筋注〕、急性感音性難聴〔静注、点滴、筋注〕、血管運動（神経）性鼻炎〔筋注、ネブ、鼻腔、鼻甲介〕、アレルギー性鼻炎〔筋注、ネブ、鼻腔、鼻甲介〕、花粉症（枯草熱）〔筋注、ネブ、鼻腔、鼻甲介〕、副鼻腔炎・鼻茸〔筋注、ネブ、鼻腔、副鼻、鼻茸〕、進行性壊疽性鼻炎〔静注、点滴、筋注、ネブ、鼻腔、副鼻、喉頭〕、喉頭炎・喉頭浮腫〔静注、点滴、筋注、ネブ、喉頭〕、喉頭ポリープ・結節〔[§]静注、[§]点滴、[§]</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>筋注、ネブ、喉頭〕、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後〔静注、点滴、筋注、ネブ、食道〕、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔静注、点滴、筋注、軟組織、皮内、ネブ、鼻腔、副鼻、鼻甲介、喉頭、中耳、食道〕、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）〔軟組織〕</p> <p>※投与法の略語は次のとおり</p> <p>静注：静脈内注射</p> <p>点滴：点滴静脈内注射</p> <p>筋注：筋肉内注射</p> <p>関節：関節腔内注射</p> <p>軟組織：軟組織内注射</p> <p>腱鞘：腱鞘内注射</p> <p>滑囊：滑液囊内注入</p> <p>硬膜外：硬膜外注射</p> <p>腹腔：腹腔内注入</p> <p>皮内：局所皮内注射</p> <p>卵腔：卵管腔内注入</p> <p>注腸：注腸</p> <p>結膜：結膜下注射</p> <p>球後：球後注射</p> <p>点眼：点眼ネブ：ネブライザー</p> <p>鼻腔：鼻腔内注入</p> <p>副鼻：副鼻腔内注入</p> <p>鼻甲介：鼻甲介内注射</p> <p>鼻茸：鼻茸内注射</p> <p>喉頭：喉頭・気管注入</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		中耳：中耳腔内注入 耳管：耳管内注入 食道：食道注入 §印：下記の場合にのみ用いること 1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射 経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時 2) 筋肉内注射 経口投与不能時 ◎印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
3	デカドロン注射液 1.65mg、 同注射液 3.3mg、同注射液 6.6mg（サンドファーマ株 式会社）等	○内分泌疾患 慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）〔筋肉内注射〕 急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 副腎性器症候群〔*筋肉内注射〕 亜急性甲状腺炎〔*筋肉内注射〕 甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕 甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症〔*筋肉内注射〕 特発性低血糖症〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕 ○リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎 関節リウマチ〔筋肉内注射、関節腔内注射〕 若年性関節リウマチ（スチル病を含む）〔筋肉内注射、関節腔内注射〕 リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 リウマチ性多発筋痛〔筋肉内注射〕 強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）〔筋肉内注射〕 強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎〔関節腔内注射〕

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>関節周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〕 腱炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射〕 腱鞘炎（非感染性のものに限る）〔腱鞘内注射〕 腱周囲炎（非感染性のものに限る）〔軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〕 滑液包炎（非感染性のものに限る）〔滑液嚢内注入〕 変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）〔関節腔内注射〕 非感染性慢性関節炎〔関節腔内注射〕 痛風性関節炎〔関節腔内注射〕</p> <p>○膠原病</p> <p>エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 全身性血管炎（大動脈炎症候群、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、ヴェゲナ肉芽腫症を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 多発性筋炎（皮膚筋炎）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 強皮症〔*筋肉内注射〕</p> <p>○腎疾患</p> <p>ネフローゼ及びネフローゼ症候群〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>○心疾患</p> <p>うっ血性心不全〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>○アレルギー性疾患</p> <p>気管支喘息〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射（但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適當な場合に限る）、ネブライザー〕 喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）〔*筋肉内注射、ネブライザー〕 喘息発作重積状態〔静脈内注射、点滴静脈内注射〕 薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>射]</p> <p>血清病 [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>アナフィラキシーショック [静脈内注射、点滴静脈内注射]</p> <p>○血液疾患</p> <p>紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性） [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの） [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む） [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>上記疾患のうち髄膜白血病 [脊髄腔内注入]</p> <p>再生不良性貧血 [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>凝固因子の障害による出血性素因 [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>顆粒球減少症（本態性、続発性） [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>○消化器疾患</p> <p>潰瘍性大腸炎 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>限局性腸炎 [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む） [*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>○肝疾患</p> <p>劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む） [静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの） [*筋肉内注射]</p> <p>○肺疾患</p> <p>びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む） [*静脈内注射、点滴静脈内注射、ネブライザー]</p> <p>○重症感染症</p> <p>重症感染症（化学療法と併用する） [静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射]</p> <p>○結核性疾患</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）〔脊髄腔内注入〕 結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）〔胸腔内注入〕 ○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 重症筋無力症〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 小舞踏病〔*筋肉内注射〕 顔面神経麻痺〔*筋肉内注射〕 脊髄蜘蛛膜炎〔*筋肉内注射〕 ○悪性腫瘍 悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射、脊髄腔内注入〕 好酸性肉芽腫〔静脈内注射、点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕 乳癌の再発転移〔*筋肉内注射〕 ○以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 多発性骨髄腫〔点滴静脈内注射〕 ○抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐） 〔静脈内注射、点滴静脈内注射〕 ○外科疾患 副腎摘除〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 臓器・組織移植〔*筋肉内注射〕 侵襲後肺水腫〔静脈内注射、ネブライザー〕

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲 [*筋肉内注射] 外科的ショック及び外科的ショック様状態 [静脈内注射] 脳浮腫 [静脈内注射] 輸血による副作用 [静脈内注射] 気管支痙攣（術中） [静脈内注射] 蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む） [*筋肉内注射] 手術後の腹膜癒着防止 [腹腔内注入] ○整形外科疾患 椎間板ヘルニアにおける神経根炎（根性坐骨神経痛を含む） [硬膜外注射] 脊髄浮腫 [静脈内注射、硬膜外注射] ○産婦人科疾患 卵管整形術後の癒着防止 [*筋肉内注射] ○泌尿器科疾患 前立腺癌（他の療法が無効な場合） [*筋肉内注射] 陰茎硬結 [*筋肉内注射、局所皮内注射] ○皮膚科疾患 *湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする） [*筋肉内注射、局所皮内注射] *痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい） [*筋肉内注射、局所皮内注射] 蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る） [*点滴静脈内注射、*筋肉内注射] *乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>疹、ライター症候群〕〔*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>上記疾患のうち*尋常性乾癬〔局所皮内注射〕</p> <p>*掌蹠膿疱症（重症例に限る）〔*筋肉内注射〕</p> <p>*扁平苔癬（重症例に限る）〔*筋肉内注射、局所皮内注射〕</p> <p>成年性浮腫性硬化症〔*筋肉内注射〕</p> <p>紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）〔*筋肉内注射〕</p> <p>粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕〔*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>*円形脱毛症（悪性型に限る）〔局所皮内注射〕</p> <p>天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）〔*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）〔*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>帯状疱疹（重症例に限る）〔*筋肉内注射〕</p> <p>*紅皮症（ヘブラ紅色皰糠疹を含む）〔*点滴静脈内注射、*筋肉内注射〕</p> <p>*早期ケロイド及びケロイド防止〔局所皮内注射〕</p> <p>新生児スクレレーマ〔*筋肉内注射〕</p> <p>○眼科疾患</p> <p>内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）〔*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、球後注射、点眼〕</p> <p>外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）〔*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、球後注射〕</p> <p>眼科領域の術後炎症〔*静脈内注射、*筋肉内注射、結膜下注射、点眼〕</p> <p>○耳鼻咽喉科疾患</p> <p>急性・慢性中耳炎〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、中耳腔内注入〕</p> <p>滲出性中耳炎・耳管狭窄症〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、中耳腔内注入、耳管内注入〕</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>メニエル病及びメニエル症候群〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 急性感音性難聴〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射〕 血管運動（神経）性鼻炎〔筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射〕 アレルギー性鼻炎〔筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射〕 花粉症（枯草熱）〔筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、鼻甲介内注射〕 副鼻腔炎・鼻茸〔筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、鼻茸内注射〕 進行性壊疽性鼻炎〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入〕 喉頭炎・喉頭浮腫〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、喉頭・気管注入〕 喉頭ポリープ・結節〔*静脈内注射、*点滴静脈内注射、*筋肉内注射、ネブライザー、喉頭・気管注入〕 食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、ネブライザー、食道注入〕 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔静脈内注射、点滴静脈内注射、筋肉内注射、軟組織内注射、局所皮内注射、ネブライザー、鼻腔内注入、副鼻腔内注入、鼻甲介内注射、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、食道注入〕 ○歯科・口腔外科疾患 難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）〔軟組織内注射〕 *印：下記の場合にのみ用いること 1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射 経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時 2) 筋肉内注射 経口投与不能時 ★印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
4	プレドニン錠 5mg（シオノギファーマ株式会社）等	<p>○内科・小児科領域 (1) 内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリ</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>一ゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症</p> <p>(2) リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p> <p>(3) 膠原病：エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <p>(4) 川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）</p> <p>(5) 腎疾患：ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>(6) 心疾患：うっ血性心不全</p> <p>(7) アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病</p> <p>(8) 重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>(9) 血液疾患：溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因</p> <p>(10) 消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎</p> <p>(11) 重症消耗性疾患：重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>(12) 肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>(13) 肺疾患：サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>(14) 結核性疾患（抗結核剤と併用する）肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）、結核性髄膜炎、結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性心臓炎</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>(15) 神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎、デュシェンヌ型筋ジストロフィー</p> <p>(16) 悪性腫瘍：悪性リンパ腫及び類似疾患（近縁疾患）、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>(17) その他の内科的疾患：特発性低血糖症、原因不明の発熱</p> <p>○外科領域 副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○整形外科領域 強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○産婦人科領域 卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害</p> <p>○泌尿器科領域 前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○皮膚科領域 △印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること △湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱疹、ライター症候群〕、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色粧糠疹（重症例に限る）、△扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果									
		<p>紅斑症（△多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮膚症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、△円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、△紅皮症（ヘブラ紅色皰糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状皰糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○眼科領域 内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不相当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○耳鼻咽喉科領域 急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）、嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎</p>									
5	水溶性プレドニン10mg、同20mg、同50mg（シオノギファーマ株式会社）	<p>☆印の付されている投与法は以下のような条件でのみ使用できる（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること）</p> <p>(1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時</p> <p>(2) 筋肉内注射：経口投与不能時</p> <table border="1" data-bbox="692 1262 2024 1361" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 60%;">効能・効果</td> <td style="width: 10%;">静脈内注射</td> <td style="width: 10%;">点滴静脈内</td> <td style="width: 10%;">筋肉内注射</td> <td style="width: 10%;">その他の用法</td> </tr> </table>					効能・効果	静脈内注射	点滴静脈内	筋肉内注射	その他の用法
効能・効果	静脈内注射	点滴静脈内	筋肉内注射	その他の用法							

	販売名（承認取得者）	効能・効果				
				注射		
		1. 内科・小児科領域				
		(1) 内分泌疾患				
		慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）			○	
		急性副腎皮質機能不全（副腎クライゼ）	○	○	○	
		副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症			○☆	
		甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クライゼ〕	○	○	○☆	
		(2) リウマチ疾患				
		関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）			○	関節腔内注射
		リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）	○☆	○☆	○	
		リウマチ性多発筋痛			○	
		(3) 膠原病				
		エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）	○☆	○☆	○	
		強皮症			○☆	
		(4) 川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険				
			○			

販売名（承認取得者）	効能・効果				
	がある場合)				
	(5) 腎疾患				
	ネフローゼ及びネフローゼ症候群	○☆	○☆	○☆	
	(6) 心疾患				
	うっ血性心不全	○☆	○☆	○☆	
	(7) アレルギー性疾患				
	気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与方法では不適当な場合に限る）	○	○	○	ネブライザー
	喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）			○☆	ネブライザー
	喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック	○	○		
	薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）	○☆	○☆	○☆	
	血清病	○	○	○☆	
	(8) 重症感染症				
	重症感染症（化学療法と併用する）	○	○	○☆	
	(9) 血液疾患				
	溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少	○	○	○☆	

販売名（承認取得者）	効能・効果					
		性)、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因				
		白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）のうち髄膜白血病				脊髄腔内注入
	(10) 消化器疾患					
		限局性腸炎、潰瘍性大腸炎	○☆	○☆	○☆	注腸
	(11) 重症消耗性疾患					
		重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）	○☆	○☆	○☆	
	(12) 肝疾患					
		劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）	○	○	○☆	
		胆汁うっ滞型急性肝炎		○☆	○☆	
		肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）			○☆	
	(13) 肺疾患					
		びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）	○☆	○☆		ネブライザー
	(14) 結核性疾患（抗結核剤と併用する）					
		結核性髄膜炎				脊髄腔内注入
		結核性胸膜炎				胸腔内注入

販売名（承認取得者）	効能・効果				
	(15) 神経疾患				
	脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症	○	○	○☆	脊髄腔内注入
	多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）	○	○	○	脊髄腔内注入
	末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）	○☆	○☆	○☆	脊髄腔内注入
	小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎			○☆	
	(16) 悪性腫瘍				
	悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
	好酸性肉芽腫	○	○	○☆	
	乳癌の再発転移			○☆	
	(17) その他の内科的疾患				
	特発性低血糖症	○	○	○☆	
	原因不明の発熱			○☆	
	2. 外科領域				
	副腎摘除	○	○	○	
	臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）			○☆	
	侵襲後肺水腫	○			ネブライザー

販売名（承認取得者）	効能・効果				
		外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）	○		
	3. 整形外科領域				
		強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）			○
		強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎			関節腔内注射
		関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）			軟組織内注射 腱鞘内注射 滑液嚢内注入
		腱炎（非感染性のものに限る）			軟組織内注射 腱鞘内注射
		腱鞘炎（非感染性のものに限る）			腱鞘内注射
		滑液包炎（非感染性のものに限る）			滑液嚢内注入
		脊髄浮腫	○		
	4. 産婦人科領域				
		卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法			卵管腔内注入
		卵管整形術後の癒着防止		○☆	卵管腔内注入
		副腎皮質機能障害による排卵障害		○☆	
	5. 泌尿器科領域				

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
			前立腺癌（他の療法が無効な場合）			○☆	
			陰茎硬結			○☆	局所皮内注射
			6. 皮膚科領域				
			<p>△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p> <p>△湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）</p>			○☆	局所皮内注射
			蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症（関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群）、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡		○☆	○☆	

販売名（承認取得者）	効能・効果							
		群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Sencar-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、△紅皮症（ヘブラ紅色粧糠疹を含む）						
		△尋常性乾癬（重症例）		○☆	○☆	局所皮内注射		
		△毛孔性紅色粧糠疹（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（△多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、レイノー病、帯状疱疹（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ			○☆			
		△円形脱毛症（悪性型に限る）、△早期ケロイド及びケロイド防止				局所皮内注射		
		7. 眼科領域						
		内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射 点眼		
		外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射		
		眼科領域の術後炎症	○☆		○☆	結膜下注射 点眼		
		8. 耳鼻咽喉科領域						

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
		急性・慢性中耳炎	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入	
		滲出性中耳炎・耳管狭窄症	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入 耳管内注入	
		急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法	○	○	○		
		血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）			○	ネブライザー 鼻腔内注入 鼻甲介内注射	
		副鼻腔炎・鼻茸			○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻茸内注射	
		進行性壊疽性鼻炎	○	○	○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 喉頭・気管注入	
		喉頭炎・喉頭浮腫	○	○	○	ネブライザー 喉頭・気管注入	
		喉頭ポリープ・結節	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 喉頭・気管注入	
		食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用后）及び食道拡張術後	○	○	○	ネブライザー 食道注入	

販売名（承認取得者）		効能・効果					
			耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	○	○	○	軟組織内注射 局所皮内注射 ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻甲介内注射 喉頭・気管注入 中耳腔内注入 食道注入
			難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）				軟組織内注射
			嗅覚障害	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 鼻腔内注入
			急性・慢性（反復性）唾液腺炎	○☆	○☆	○☆	唾液腺管内注入
6	プレドネマ注腸20mg(杏林製薬株式会社)	潰瘍性大腸炎、限局性腸炎					
7	メドロール錠 2mg、同錠 4mg (ファイザー株式会社)	<p>★印：外用剤を用いても効果が不十分な場合、あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。</p> <p>〈内科・小児科領域〉</p> <p>○内分泌疾患</p> <p>急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH単独欠損症</p>					

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○膠原病 リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）</p> <p>○アレルギー性疾患 気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状秕糠疹を含む）</p> <p>○血液疾患 溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因</p> <p>○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>○消化器疾患 限局性腸炎、潰瘍性大腸炎、劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>○呼吸器疾患 びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>○結核性疾患 結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）</p> <p>○循環器疾患</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>ネフローゼ及びネフローゼ症候群、うっ血性心不全</p> <p>○重症感染症 重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>○新陳代謝疾患 特発性低血糖症</p> <p>○その他内科的疾患 サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーフを含む）、悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移 〈外科領域〉</p> <p>○臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む） 〈整形外科領域〉</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ性多発筋痛 〈泌尿器科領域〉</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効の場合）、陰茎硬結 〈眼科領域〉</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症 〈皮膚科領域〉</p> <p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、*掌蹠膿疱症（重症例に限る）、*扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫硬化症、紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA血管炎、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮膚症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、*円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、*紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、強皮症</p> <p>〈耳鼻咽喉科領域〉</p> <p>○血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p>
8	<p>ソル・メドロール静注用 40mg、同静注用 125mg、同静注用 500mg、同静注用 1000mg（ファイザー株式会社）</p>	<p>〈ソル・メドロール静注用 40mg、125mg、500mg、1000mg〉</p> <p>○急性循環不全（出血性ショック、感染性ショック）</p> <p>○腎臓移植に伴う免疫反応の抑制</p> <p>○受傷後 8 時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善</p> <p>○ネフローゼ症候群</p> <p>○多発性硬化症の急性増悪</p> <p>○治療抵抗性の下記リウマチ性疾患</p> <p>全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎等）、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患</p> <p>○川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）</p> <p>〈ソル・メドロール静注用 40mg、125mg〉</p> <p>○気管支喘息</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>〈ソル・メドロール静注用 40mg、125mg、500mg〉 ○以下の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法 再発又は難治性の悪性リンパ腫</p>
9	デポ・メドロール水懸注 20mg、同水懸注 40mg（ファイザー株式会社）	<p>○内数字は投与法を示す 注Ⅰ参照のこと △印 ★印 注Ⅱ参照のこと 〈内科・小児科領域〉 ○内分泌疾患 副腎性器症候群〔[△]①〕 ○膠原病 リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）〔①〕 ○アレルギー性疾患 気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適當な場合に限る）〔①⑧〕、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）〔[△]①⑧〕、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、血清病〔[△]①〕 ○血液疾患 溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血〔[△]①〕 ○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎、小舞蹈病〔[△]①〕 ○消化器疾患</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>胆汁うっ滞型急性肝炎、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）、劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）〔[△]①〕、限局性腸炎、潰瘍性大腸炎〔[△]①⑦〕</p> <p>○呼吸器疾患</p> <p>びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）〔⑧〕</p> <p>○循環器疾患</p> <p>ネフローゼ及びネフローゼ症候群、うっ血性心不全〔[△]①〕</p> <p>○重症感染症</p> <p>重症感染症（化学療法と併用する）〔[△]①〕</p> <p>○新陳代謝疾患</p> <p>特発性低血糖症〔[△]①〕</p> <p>○その他内科的疾患</p> <p>悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）〔[△]①〕</p> <p>〈外科領域〉</p> <p>○副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）〔[△]①〕、侵襲後肺水腫〔⑧〕</p> <p>〈整形外科領域〉</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）〔①〕、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎〔②〕、関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）〔①②〕、リウマチ性多発筋痛〔①〕、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎〔②〕、関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）〔③④⑤〕、腱炎（非感染性のものに限る）〔③④〕、腱鞘炎（非感染性のものに限る）〔④〕、滑液包炎（非感染性のものに限る）〔⑤〕</p> <p>〈泌尿器科領域〉</p> <p>○前立腺癌（他の療法が無効な場合）〔[△]①〕、陰茎硬結〔[△]①⑥〕</p> <p>〈眼科領域〉</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症〔[△]①〕</p> <p>〈皮膚科領域〉</p> <p>○湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）（局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る、また固定蕁麻疹は局注が望ましい）、乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群（局所皮内は尋常性乾癬のみ）〕〔[△]①[★]⑥〕、扁平苔癬（重症例に限る）〔[△]①[★]⑥〕、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（[★]多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、帯状疱疹（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ、レイノー病〔[△]①〕、紅皮症（ヘブラ紅色粧糠疹を含む）〔[★]①〕、限局性強皮症〔⑥〕、強皮症〔[△]①〕、円形脱毛症（悪性型に限る）、早期ケロイド及びケロイド防止〔[★]⑥〕</p> <p>〈耳鼻咽喉科領域〉</p> <p>○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法〔①③⑥⑧⑨⑩⑪⑬⑭〕、副鼻腔炎・鼻茸〔①⑧⑨⑩⑫〕、進行性壊疽性鼻炎〔①⑧⑨⑩⑬〕、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）〔①⑧⑨⑪〕、喉頭ポリープ・結節〔[△]①⑧⑬〕、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）〔③〕</p> <p>〈口腔外科領域〉</p> <p>○口腔外科領域手術後の後療法〔①〕</p> <p>注Ⅰ：投与方法</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>①筋肉内注射 ⑥局所皮内注射 ⑪鼻甲介内注射 ②関節腔内注射 ⑦注腸 ⑫鼻茸内注射 ③軟組織内注射 ⑧ネブライザー ⑬喉頭・気管注入 ④腱鞘内注射 ⑨鼻腔内注入 ⑭中耳腔内注入 ⑤滑液嚢内注入 ⑩副鼻腔内注入</p> <p>注Ⅱ：△印-筋肉内注射 経口投与不能な場合のみ用いること ★印-外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
10	コートン錠 25mg(日医工株式会社)	<p>○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症、関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）</p> <p>○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）</p> <p>○ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>○気管支喘息、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病</p> <p>○重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血</p> <p>○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎</p> <p>○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>○慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）</p> <p>○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺</p> <p>○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）</p> <p>○特発性低血糖症</p> <p>○副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲</p> <p>○★湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、★乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、紅斑症（★多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、★紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不相当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）</p> <p>○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）</p> <p>★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
11	コートリル錠10mg(ファイザー株式会社)	<p>○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単独欠損症</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）</p> <p>○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <ul style="list-style-type: none">○ネフローゼ及びネフローゼ症候群○気管支喘息、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病○重症感染症（化学療法と併用する）○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）○慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）○サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）○肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心臓炎（抗結核剤と併用する）○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移○特発性低血糖症○原因不明の発熱○副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）○卵管整形術後の癒着防止

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>○★湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、★痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（重症例に限る）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、★乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、★掌蹠膿疱症（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（★多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、★円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、★紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）、顔面播種状粟粒狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状剝糠疹を含む）</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不相当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。</p>
12	ソル・コーテフ注射用100mg（ファイザー株式会社）等	<p>○内数字は投与法を示す 注Ⅰ参照のこと △印 ★印 注Ⅱ参照のこと 〈内科・小児科領域〉</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○内分泌疾患 急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）〔①②③〕、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕〔①②[△]③〕、慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）〔③〕、ACTH単独欠損症〔[△]③〕</p> <p>○膠原病 リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）〔[△]①[△]②③〕</p> <p>○アレルギー性疾患 気管支喘息〔⑩⑭〕、アナフィラキシーショック〔①②〕、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）〔[△]③⑩〕、薬剤その他の化学的物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）〔[△]①[△]②[△]③〕、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）〔[△]②[△]③〕</p> <p>○神経疾患 脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）〔①②[△]③〕、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）〔[△]①[△]②[△]③〕、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎〔[△]③〕、脊髄浮腫〔①⑥〕</p> <p>○消化器疾患 限局性腸炎、潰瘍性大腸炎〔[△]①[△]②[△]③⑧〕</p> <p>○呼吸器疾患 びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）〔[△]①[△]②⑩〕</p> <p>○重症感染症 重症感染症（化学療法と併用する）〔①②[△]③〕</p> <p>○新陳代謝疾患 特発性低血糖症〔①②[△]③〕</p> <p>○その他の内科的疾患 重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）〔[△]①[△]②[△]③〕、悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫〔①②[△]③〕、乳癌の再発転</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>移〔[△]③〕</p> <p>〈外科領域〉</p> <p>副腎摘除〔①②③〕、臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲〔[△]③〕、侵襲後肺水腫〔①⑩〕、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）〔①〕、手術後の腹膜癒着防止〔⑦〕、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）〔[△]③〕</p> <p>〈整形外科領域〉</p> <p>関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）〔③④〕、リウマチ性多発筋痛〔③〕、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）〔③〕、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎〔④〕</p> <p>〈泌尿器科領域〉</p> <p>前立腺癌（他の療法が無効の場合）、陰茎硬結〔[△]③〕</p> <p>〈眼科領域〉</p> <p>眼科領域の術後炎症〔[△]①[△]③⑨〕</p> <p>〈皮膚科領域〉</p> <p>湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）〔[△]③〕、乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕〔[△]②[△]③〕、紅斑症（[△]多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）〔[△]③〕、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）〔[△]②[△]③〕、帯状疱疹（重症例に限る）〔[△]③〕、潰瘍性慢性膿皮症〔[△]③〕、紅皮症（ヘブラ紅色剝糠疹を含む）〔[△]②[△]③〕</p> <p>〈耳鼻咽喉科領域〉</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果															
		<p>メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴〔①②③〕、喉頭炎・喉頭浮腫〔①②③⑩⑫〕、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後〔①②③⑩⑬〕、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）〔③⑩⑪〕、嗅覚障害〔△①△②△③⑩⑪〕、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）〔⑤〕</p> <p>〈口腔外科領域〉</p> <p>口腔外科領域手術後の後療法〔①②③〕</p> <p>注Ⅰ：投与方法</p> <table border="0"> <tr> <td>①静脈内注射</td> <td>⑥硬膜外注射</td> <td>⑪鼻腔内注入</td> </tr> <tr> <td>②点滴静脈内注射</td> <td>⑦腹腔内注入</td> <td>⑫喉頭・気管注入</td> </tr> <tr> <td>③筋肉内注射</td> <td>⑧注腸</td> <td>⑬食道注入</td> </tr> <tr> <td>④関節腔内注射</td> <td>⑨結膜下注射</td> <td>⑭静脈内注射又は点滴静脈内注射</td> </tr> <tr> <td>⑤軟組織内注射</td> <td>⑩ネブライザー</td> <td></td> </tr> </table> <p>注Ⅱ：△印-下記の場合にのみ用いること</p> <p>1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射 経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時</p> <p>2) 筋肉内注射 経口投与不能時</p> <p>★印-外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>	①静脈内注射	⑥硬膜外注射	⑪鼻腔内注入	②点滴静脈内注射	⑦腹腔内注入	⑫喉頭・気管注入	③筋肉内注射	⑧注腸	⑬食道注入	④関節腔内注射	⑨結膜下注射	⑭静脈内注射又は点滴静脈内注射	⑤軟組織内注射	⑩ネブライザー	
①静脈内注射	⑥硬膜外注射	⑪鼻腔内注入															
②点滴静脈内注射	⑦腹腔内注入	⑫喉頭・気管注入															
③筋肉内注射	⑧注腸	⑬食道注入															
④関節腔内注射	⑨結膜下注射	⑭静脈内注射又は点滴静脈内注射															
⑤軟組織内注射	⑩ネブライザー																
13	ソル・コーテフ 静注用 250mg、同静注用 500mg、同静注用 1000mg(ファイザー株式会社) 等	<p>〈ソル・コーテフ静注用 250mg、500mg、1000mg〉</p> <p>急性循環不全（出血性ショック、外傷性ショック）及びショック様状態における救急</p> <p>〈ソル・コーテフ静注用 250mg、500mg〉</p> <p>気管支喘息</p>															
14	水溶性ヒドロコトン注射液 100mg、同注射液 500mg(日医工株式会社) 等	外科的ショックおよびショック様状態における救急、または術中・術後のショック															

	販売名（承認取得者）	効能・効果
15	レダコート錠 4mg（アルフレッサ ファーマ株式会社）	<ul style="list-style-type: none"> ○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医源性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕 ○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛 ○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症 ○ネフローゼ及びネフローゼ症候群 ○うっ血性心不全 ○気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病 ○重症感染症（化学療法と併用する） ○溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性） ○限局性腸炎、潰瘍性大腸炎 ○重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む） ○結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する） ○脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（ただし、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺 ○悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患） ○特発性低血糖症 ○副腎摘除、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲 ○蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む） ○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎） ○前立腺癌（他の療法が無効な場合）

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（ただし、重症例以外は極力投与しないこと）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（ただし、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、*毛孔性紅色秕糠疹（重症例に限る）、*扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（ただし、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、*円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、帯状疱疹（重症例に限る）、*紅皮症（ヘブラ紅色秕糠疹を含む）</p> <p>○内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）</p> <p>○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>注）★印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。</p>
16	ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL（ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社）	<p>〈筋肉内注射〉</p> <p>○慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、*副腎性器症候群、*亜急性甲状腺炎、*甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、*強皮症</p> <p>○*ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>○*うっ血性心不全</p> <p>○気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適當な場合に限る）、*薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、*血清病</p> <p>○*重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>○*溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、*白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、*顆粒球減少症（本態性、続発性）、*紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、*再生不良性貧血、*凝固因子の障害による出血性素因</p> <p>○*限局性腸炎、*潰瘍性大腸炎</p> <p>○*重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>○*肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>○*脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、*末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、*重症筋無力症、*多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、*小舞蹈病、*顔面神経麻痺、*脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>○*悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、*好酸性肉芽腫、*乳癌の再発転移</p> <p>○*特発性低血糖症</p> <p>○副腎摘除、*臓器・組織移植、*副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲</p> <p>○*蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○*卵管整形術後の癒着防止</p> <p>○*前立腺癌（他の療法が無効な場合）</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>○**湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、**痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、*蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、**乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、* *掌蹠膿疱症（重症例に限る）、**扁平苔癬（重症例に限る）、*成年性浮腫性硬化症、*紅斑症（*多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、*粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、*デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、*帯状疱疹（重症例に限る）、**紅皮症（ヘブラ紅色皴糠疹を含む）</p> <p>○*内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、*外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）</p> <p>○*急性・慢性中耳炎、*滲出性中耳炎・耳管狭窄症、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、*喉頭ポリープ・結節、*食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>○口腔外科領域手術後の後療法 〈関節腔内注射〉</p> <p>○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）</p> <p>○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎 〈軟組織内注射〉</p> <p>○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<ul style="list-style-type: none">○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの） 〈腱鞘内注射〉○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱鞘炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る） 〈滑液嚢内注入〉○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）、滑液包炎（非感染性のものに限る） 〈ネブライザー〉○気管支喘息○びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用后）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻腔内注入〉○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈副鼻腔内注入〉○副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻甲介内注射〉○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻茸内注射〉○副鼻腔炎・鼻茸 〈喉頭・気管注入〉○喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈中耳腔内注入〉○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>〈耳管内注入〉 ○滲出性中耳炎・耳管狭窄症</p> <p>〈食道注入〉 ○食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>*印 経口投与不能時にのみ用いること ★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
16	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL （ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社）	<p>〈関節腔内注射〉 ○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む） ○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎</p> <p>〈軟組織内注射〉 ○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る） ○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 ○難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）</p> <p>〈腱鞘内注射〉 ○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱鞘炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）</p> <p>〈滑液嚢内注入〉 ○関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）、滑液包炎（非感染性のものに限る）</p> <p>〈局所皮内注射〉 ○*湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ピダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）、（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹）</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（重症例に限る）、★乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕のうち尋常性乾癬、★扁平苔癬（重症例に限る）、限局性強皮症、★円形脱毛症（悪性型に限る）、★早期ケロイド及びケロイド防止</p> <p>○耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈ネブライザー〉</p> <p>○気管支喘息</p> <p>○びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻腔内注入〉</p> <p>○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈副鼻腔内注入〉</p> <p>○副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻甲介内注射〉</p> <p>○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈鼻茸内注射〉</p> <p>○副鼻腔炎・鼻茸 〈喉頭・気管注入〉</p> <p>○喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈中耳腔内注入〉</p> <p>○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法 〈耳管内注入〉</p> <p>○滲出性中耳炎・耳管狭窄症 〈食道注入〉</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>○食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法</p> <p>★印 外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること</p>
17	リンデロン錠 0.5mg、同散 0.1%、同シロップ 0.01%（シオノギファーマ株式会社）等	<p>○内科・小児科領域</p> <p>(1) 内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH単独欠損症、下垂体抑制試験</p> <p>(2) リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛</p> <p>(3) 膠原病：エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症</p> <p>(4) 腎疾患：ネフローゼ及びネフローゼ症候群</p> <p>(5) 心疾患：うっ血性心不全</p> <p>(6) アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病</p> <p>(7) 重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）</p> <p>(8) 血液疾患：溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因</p> <p>(9) 消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎</p> <p>(10) 重症消耗性疾患：重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）</p> <p>(11) 肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎（活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型）（但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限り）、肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）</p> <p>(12) 肺疾患：サルコイドーシス（但し、両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く）、びまん性間質性肺炎（肺線維症）</p>

販売名（承認取得者）	効能・効果
	<p>（放射線肺臓炎を含む）</p> <p>（13）結核性疾患（抗結核剤と併用する）：肺結核（粟粒結核、重症結核に限る）、結核性髄膜炎、結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性心臓炎</p> <p>（14）神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎</p> <p>（15）悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移</p> <p>（16）その他の内科的疾患：特発性低血糖症、原因不明の発熱</p> <p>○外科領域 副腎摘除、臓器・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）</p> <p>○整形外科領域 強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）</p> <p>○産婦人科領域 卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害</p> <p>○泌尿器科領域 前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結</p> <p>○皮膚科領域 △印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること △湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以</p>

	販売名（承認取得者）	効能・効果
		<p>外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、△類乾癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色糝糠疹（重症例に限る）、△扁平苔癬（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、IgA血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、レイノー病、△円形脱毛症（悪性型に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、△紅皮症（ヘブラ紅色糝糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状糝糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p> <p>○眼科領域 内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）、眼科領域の術後炎症</p> <p>○耳鼻咽喉科領域 急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用后）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）、嗅覚障害、急性・慢性（反復性）唾液腺炎</p>
18	リンデロン坐剤 0.5mg、同坐剤 1.0mg（シオノギファーマ株式会社）	潰瘍性大腸炎（直腸炎型）

	販売名（承認取得者）	効能・効果				
19	リンデロン注 2mg (0.4%)、同注 4mg (0.4%)（シオノギファーマ株式会社）等	<p>☆印の付されている投与法は以下のような条件でのみ使用できる。（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること。）</p> <p>(1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時</p> <p>(2) 筋肉内注射：経口投与不能時</p>				
		効能・効果	静脈内注射	点滴静脈内注射	筋肉内注射	その他の用法
		1. 内科・小児科領域				
		(1) 内分泌疾患				
		慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）			○	
		急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）	○	○	○	
		副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症			○☆	
		甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕	○	○	○☆	
		(2) リウマチ疾患				
		関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）			○	関節腔内注射
		リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）	○☆	○☆	○	

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
			リウマチ性多発筋痛			○	
		(3) 膠原病					
			エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）	○☆	○☆	○	
			強皮症			○☆	
		(4) 腎疾患					
			ネフローゼ及びネフローゼ症候群	○☆	○☆	○☆	
		(5) 心疾患					
			うっ血性心不全	○☆	○☆	○☆	
		(6) アレルギー性疾患					
			気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与方法では不適当な場合に限る）	○	○	○	ネブライザー
			喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）			○☆	ネブライザー
			喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック	○	○		
			薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）	○☆	○☆	○☆	

	販売名（承認取得者）	効能・効果				
		血清病	○	○	○☆	
		(7) 重症感染症				
		重症感染症（化学療法と併用する）	○	○	○☆	
		(8) 血液疾患				
		溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因	○	○	○☆	
		髄膜白血病				脊髄腔内注入
		(9) 消化器疾患				
		限局性腸炎、潰瘍性大腸炎	○☆	○☆	○☆	注腸
		(10) 重症消耗性疾患				
		重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）	○☆	○☆	○☆	
		(11) 肝疾患				
		劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）	○	○	○☆	

	販売名（承認取得者）	効能・効果				
		胆汁うっ滞型急性肝炎		○☆	○☆	
		肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）			○☆	
		(12) 肺疾患				
		びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）	○☆	○☆		ネブライザー
		(13) 結核性疾患（抗結核剤と併用する）				
		結核性髄膜炎				脊髄腔内注入
		結核性胸膜炎				胸腔内注入
		(14) 神経疾患				
		脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
		末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）	○☆	○☆	○☆	脊髄腔内注入
		小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎			○☆	
		(15) 悪性腫瘍				

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
			悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
			好酸性肉芽腫	○	○	○☆	
			乳癌の再発転移			○☆	
			(16) その他の内科的疾患				
			特発性低血糖症	○	○	○☆	
			原因不明の発熱			○☆	
			2. 外科領域				
			副腎摘除	○	○	○	
			臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）			○☆	
			侵襲後肺水腫	○			ネブライザー
			外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）	○			
			3. 整形外科領域				
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）			○	

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎			関節腔内注射	
			関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）			軟組織内注射 腱鞘内注射 滑液嚢内注入	
			腱炎（非感染性のものに限る）			軟組織内注射 腱鞘内注射	
			腱鞘炎（非感染性のものに限る）			腱鞘内注射	
			滑液包炎（非感染性のものに限る）			滑液嚢内注入	
		4. 産婦人科領域					
			卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法			卵管腔内注入	
			卵管整形術後の癒着防止		○☆	卵管腔内注入	
			副腎皮質機能障害による排卵障害		○☆		
			早産が予期される場合における、母体投与による胎児肺成熟を介した新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制		○		
		5. 泌尿器科領域					

販売名（承認取得者）	効能・効果					
		前立腺癌（他の療法が無効な場合）、 陰茎硬結			○☆	
	6. 皮膚科領域					
		<p>△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。</p> <p>△湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など） （但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、△類乾</p>			○☆	

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			<p>癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色糠疹（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、レイノー病、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ</p>					
			<p>蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、IgA血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡）、デューリン</p>		○☆	○☆		

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			グ疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、△紅皮症（ヘブラ紅色糠疹を含む）					
		7. 眼科領域						
			内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射 点眼	
			外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射	
			眼科領域の術後炎症	○☆		○☆	結膜下注射 点眼	
		8. 耳鼻咽喉科領域						
			急性・慢性中耳炎	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入	
			滲出性中耳炎・耳管狭窄症	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入 耳管内注入	
			メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法	○	○	○		

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）			○	ネブライザー 鼻腔内注入 鼻甲介内注射	
			副鼻腔炎・鼻茸			○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻茸内注射	
			進行性壊疽性鼻炎	○	○	○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 喉頭・気管注 入	
			喉頭炎・喉頭浮腫	○	○	○	ネブライザー 喉頭・気管注 入	
			喉頭ポリープ・結節	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 喉頭・気管注 入	
			食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後	○	○	○	ネブライザー 食道注入	
			耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	○	○	○	軟組織内注射 ネブライザー	

販売名（承認取得者）		効能・効果						
							鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻甲介内注射 喉頭・気管注 入 中耳腔内注入 食道注入	
		難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）					軟組織内注射	
		嗅覚障害	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 鼻腔内注入		
		急性・慢性（反復性）唾液腺炎	○☆	○☆	○☆	唾液腺管内注 入		
19	リンデロン注 20mg (0.4%) (シオノギファーマ株式 会社) 等	<p>☆印の付されている投与法は以下のような条件でのみ使用できる。（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること。）</p> <p>(1) 静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時</p> <p>(2) 筋肉内注射：経口投与不能時</p>						
		効能・効果	静脈内 注射	点滴 静脈内 注射	筋肉内 注射	その他の用法		

販売名（承認取得者）	効能・効果					
	1. 内科・小児科領域					
	(1) 内分泌疾患					
		慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）			○	
		急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）	○	○	○	
		副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症			○☆	
		甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕	○	○	○☆	
	(2) リウマチ疾患					
		関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）			○	関節腔内注射
		リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）	○☆	○☆	○	
		リウマチ性多発筋痛			○	
	(3) 膠原病					
		エリテマトーデス（全身性及び慢性円板状）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）	○☆	○☆	○	

販売名（承認取得者）	効能・効果					
	強皮症			○☆		
	(4) 腎疾患					
	ネフローゼ及びネフローゼ症候群	○☆	○☆	○☆		
	(5) 心疾患					
	うっ血性心不全	○☆	○☆	○☆		
	(6) アレルギー性疾患					
	気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与方法では不適當な場合に限る）	○	○	○	ネブライザー	
	喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）			○☆	ネブライザー	
	喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック	○	○			
	薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）	○☆	○☆	○☆		
	血清病	○	○	○☆		
	(7) 重症感染症					
	重症感染症（化学療法と併用する）	○	○	○☆		
	(8) 血液疾患					
	溶血性貧血（免疫性又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血	○	○	○☆		

販売名（承認取得者）	効能・効果						
		病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因					
		髄膜白血病				脊髄腔内注入	
		(9) 消化器疾患					
		限局性腸炎、潰瘍性大腸炎	○☆	○☆	○☆	注腸	
		(10) 重症消耗性疾患					
		重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）	○☆	○☆	○☆		
		(11) 肝疾患					
		劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）	○	○	○☆		
		胆汁うっ滞型急性肝炎		○☆	○☆		
		肝硬変（活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの）			○☆		
		(12) 肺疾患					
		びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）	○☆	○☆		ネブライザー	

販売名（承認取得者）	効能・効果				
	(13) 結核性疾患（抗結核剤と併用する）				
	結核性髄膜炎				脊髄腔内注入
	結核性胸膜炎				胸腔内注入
	(14) 神経疾患				
	脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
	末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）	○☆	○☆	○☆	脊髄腔内注入
	小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎			○☆	
	(15) 悪性腫瘍				
	悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）	○	○	○☆	脊髄腔内注入
	好酸性肉芽腫	○	○	○☆	
	乳癌の再発転移			○☆	
	(16) その他の内科的疾患				

	販売名（承認取得者）	効能・効果					
			特発性低血糖症	○	○	○☆	
			原因不明の発熱			○☆	
		2. 外科領域					
			副腎摘除	○	○	○	
			臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）			○☆	
			侵襲後肺水腫	○			ネブライザー
			外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）	○			
		3. 整形外科領域					
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）			○	
			強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎				関節腔内注射
			関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射 滑液嚢内注入

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			腱炎（非感染性のものに限る）				軟組織内注射 腱鞘内注射	
			腱鞘炎（非感染性のものに限る）				腱鞘内注射	
			滑液包炎（非感染性のものに限る）				滑液嚢内注入	
			4. 産婦人科領域					
			卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法				卵管腔内注入	
			卵管整形術後の癒着防止			○☆	卵管腔内注入	
			副腎皮質機能障害による排卵障害			○☆		
			5. 泌尿器科領域					
			前立腺癌（他の療法が無効な場合）、 陰茎硬結			○☆		
			6. 皮膚科領域					
			△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。 △湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮			○☆		

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など （但し、重症例以外は極力投与しないこと）、△痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（但し、重症例に限る。また、固定蕁麻疹は局注が望ましい）、△類乾癬（重症例に限る）、△掌蹠膿疱症（重症例に限る）、△毛孔性紅色秕糠疹（重症例に限る）、成年性浮腫性硬化症、紅斑症〔△多形滲出性紅斑（重症例に限る）、結節性紅斑〕、レイノー病、先天性表皮水疱症、帯状疱疹（重症例に限る）、顔面播種状粟粒性狼瘡（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ					
			蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）、△乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅		○☆	○☆		

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			皮膚症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、IgA 血管炎（重症例に限る）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュツツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、△紅皮症（ヘブラ紅色皰糠疹を含む）					
		7. 眼科領域						
			内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺）	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射 点眼	
			外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適當又は不十分な場合	○☆		○☆	結膜下注射 球後注射	

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
			(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎)					
			眼科領域の術後炎症	○☆		○☆	結膜下注射 点眼	
		8. 耳鼻咽喉科領域						
			急性・慢性中耳炎	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入	
			滲出性中耳炎・耳管狭窄症	○☆	○☆	○☆	中耳腔内注入 耳管内注入	
			メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法	○	○	○		
			血管運動（神経）性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）			○	ネブライザー 鼻腔内注入 鼻甲介内注射	
			副鼻腔炎・鼻茸			○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻茸内注射	
			進行性壊疽性鼻炎	○	○	○	ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入	

	販売名（承認取得者）	効能・効果						
							喉頭・気管注 入	
			喉頭炎・喉頭浮腫	○	○	○	ネブライザー 喉頭・気管注 入	
			喉頭ポリープ・結節	○☆	○☆	○☆	ネブライザー 喉頭・気管注 入	
			食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使 用後）及び食道拡張術後	○	○	○	ネブライザー 食道注入	
			耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法	○	○	○	軟組織内注射 ネブライザー 鼻腔内注入 副鼻腔内注入 鼻甲介内注射 喉頭・気管注 入 中耳腔内注入 食道注入	
			難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治 癒しないもの）				軟組織内注射	
			嗅覚障害	○☆	○☆	○☆	ネブライザー	

	販売名（承認取得者）	効能・効果																																										
							鼻腔内注入																																					
		急性・慢性（反復性）唾液腺炎	○☆	○☆	○☆		唾液腺管内注入																																					
19	リンデロン注 20mg（2%）、同注 100mg（2%）（シオノギファーマ株式会社）	出血性ショックにおける救急、又は術中・術後のショック																																										
20	ステロネマ注腸 1.5mg、同注腸 3mg（日医工株式会社）	限局性腸炎、潰瘍性大腸炎																																										
21	リンデロン懸濁注（シオノギファーマ株式会社）	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>効能・効果\用法</th> <th>筋肉内注射</th> <th>関節腔内注射</th> <th>軟組織内注射</th> <th>腱鞘内注射</th> <th>滑液嚢内注入</th> <th>局所皮内注射</th> <th>鼻腔内注入</th> <th>鼻甲介内注射</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関節リウマチ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>関節周囲炎 （非感染性のものに限る）</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>腱炎 （非感染性のものに限る）</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							効能・効果\用法	筋肉内注射	関節腔内注射	軟組織内注射	腱鞘内注射	滑液嚢内注入	局所皮内注射	鼻腔内注入	鼻甲介内注射	関節リウマチ		○							関節周囲炎 （非感染性のものに限る）			○	○	○				腱炎 （非感染性のものに限る）			○	○				
効能・効果\用法	筋肉内注射	関節腔内注射	軟組織内注射	腱鞘内注射	滑液嚢内注入	局所皮内注射	鼻腔内注入	鼻甲介内注射																																				
関節リウマチ		○																																										
関節周囲炎 （非感染性のものに限る）			○	○	○																																							
腱炎 （非感染性のものに限る）			○	○																																								

販売名（承認取得者）		効能・効果							
		腱鞘炎 （非感染性のものに限る）				○			
		腱周囲炎 （非感染性のものに限る）			○	○	○		
		滑液包炎 （非感染性のものに限る）					○		
		変形性関節症 （炎症症状がはっきり認められる場合）		○					
		外傷後関節炎		○					
		△円形脱毛症 （悪性型に限る）						○	
		△早期ケロイド及びケロイド防止						○	
		アレルギー性鼻炎	○						○
		△印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること							
22	セレスタミン配合錠、同配合シロップ（高田製薬株式会社）等	○蕁麻疹（慢性例を除く） ○湿疹・皮膚炎群の急性期及び急性増悪期 ○薬疹 ○アレルギー性鼻炎							